

事業所自己評価シート

職員による自己評価

A環境面・体制整備

利用定員と活動室のスペースは車椅子が6台入ると狭く感じたり活動後のマットで過ごす際も狭く感じる時もあるが、置き場を考えれば広くスペースが確保される。人員配置も少なくはない。看護師配置を手厚くし医療的ケアを行っている。

B業務改善

月1の職員ミーティングで細かく話し合いを行い勉強会も出来ている。各専門職の分野ごとに研修を計画していく。外部評価の認識がなかったなどという声も上がっている。

C適切な支援の提供

計画書を作成の際にはアセスメントをしているが他の職員の理解度は低い。しかし面談の中でニーズを把握し計画書や専門職ケアに繋げている。活動は職種関係なく意見を言いプログラムを立案している。保護者の意見も聞き活動を考えている。活動振り返りは翌日に行っている。

D関係機関や保護者との連携

卒業生がいなく情報共有を行う場面が少なく評価は低い。自立協の参加は必要時行っているが医療職の評価が低い。

E保護者への説明責任等

月1でブログ、お便りを毎月発進している。保護者会は開催できていないが、家族参加型の活動を行い家族、兄弟児の交流に繋がっている。

F非常時等の対応

緊急時の対応はしっかり時間を作ることは難しかった。定期的にはマニュアルの見直しを行っている。

保護者による評価

A環境・体制整備

学校の中から渡り廊下で来れるため雨でも濡れなくてよい。職員の配置、看護師の人数が多いことでしっかりケアしてもらっているという声が多く聞かれた。

B適切な支援の提供

障害のない子供と活動する機会があるかに関しては評価低いが活動プログラムは固定化ではなく色々経験したことのない活動を行ってくれると評価は高い。

C保護者への説明

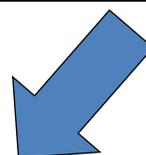
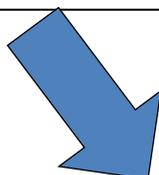
支援の内容は面談時、送迎時などに報告しているため評価高い。毎月の活動のブログを楽しみにしているという声も上がっている。

D非常時の対応

非常事態の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているかについての満足度は去年に比べ今年が高い評価になっていた。避難訓練に関してはどちらともいえないという回答が多い。

E満足度

通所を楽しみにしているかについては評価は高かった。いつもニコニコで利用の日は過ごしていると言われていた。事業所の支援に満足しているかについても評価は高かった。



事業所内での分析

【共通点】

昨年度に引き続き活動はたんぼぼでしか経験できない活動の提供。イベント活動では五感を刺激し歌やダンス等家族、職員、子供たちと行った。家族も協力してくれ活動を充実することが出来た。

看護師配置がしっかり取れていて医療的ケアをスムーズに対応出来ている。

【相違点】

活動の中では避難訓練等行っているが緊急時の対応が周知されていない。毎年緊急時に関しての評価は低い。

分析・検討してみたて…

事業所の強み

各職員が学びたい研修に率先して参加し、研修報告をミーティングで報告し、日々の支援の際に活かしている。また季節ごとのイベントでは保護者やきょうだい児の参加率が高くなって来ており家族と一緒に活動を完成している。

事業所の改善点

毎年の課題ではあるが、非常時の対応にマニュアル、防犯マニュアルの見直し。職員の避難訓練や児童を含む避難訓練を行う。学校とも連携を取り合同の避難訓練を行う。地域に出る機会を多くする。

事業所の改善への取り組み

非常時の対応については各マニュアルの確認を行う。保護者会を行い活動報告や非常時の対応を伝える。年度初めに学校とも合同訓練ができるかを確認する。

活動の中で地域の出る機会を増やし地域の人たちとの交流を増やしていく。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

毎年恒例の季節のイベントでは今年度も保護者、きょうだい児と一緒に参加して普段体験できないことが出来た、次のイベントを楽しみという声が多く上がっていて学校教員も見に来てくれることもあった。

参加して下さる家族も年々増え保護者通しの交流、きょうだい児の交流も増えてきて職員含め良い関係性に繋がったかと思う。

今後も他では経験できない事を保護者の意見ももらいながら活動を提供していきたい。